

# 暖 暖 松 山

だんだんまつやま

vol.

5

Take Free

万事が“いい、加減”なまち  
愛媛・松山を、  
暮らすように旅する



のびやかな風光と  
人情がもたらす  
陽だまりのよらかな暮らし

初春のすがすがしい空気に満ちている松山です。  
このほど「暖暖松山」5号が出来上がりました。  
今回は松山の暮らしやすさを  
余すことなく伝えたいと、  
外の眼で語ってくださる方々に、  
登場していただきました。  
おだやかな気候風土を持つ松山では、  
山海の幸と濃やかな人情が育まれ、  
すべてにおいて胎動とした、  
独特な味わいがあります。  
あれもこれも、ほど良く恵まれていることから、  
かつて、住みごこちランキング1位(※)の  
栄誉に輝いたこともありました。  
陽だまりのような松山を、  
じっくりお楽しみください。

## 松山の魅力を発信する冊子 「暖暖松山」5号

### 目次

- 心地よさにあふれた空間  
このまちの「特別」な場所「城山公園」に憩う人たち
- 松山、ゆかりの人  
片岡鶴太郎さんインタビュー
- 仕事も楽し、暮らしも楽し 幸せ都市を謳歌する  
転勤族ばらだいたす
- 老舗の味をいただきます  
街角の愛される名店たち
- 暮らしを感じる旅  
コンパクトで盛りだくさん、  
時代を拓くたくましさもある街  
道後マンキツ夫婦旅／お城下ぶらぶら女子旅
- あたたかさの秘密  
「お接待」の心が培った松山のおもてなし
- 食材自慢 津和地島の極早生玉ねぎ
- 松山市街地エリアMAP アクセス



田舎のおだやかさもあれば、  
都会の便利さもある。  
文化や歴史の楽しみもあれば、  
海や島の楽しみもある。  
あたたかい温泉もあれば、  
あたたかい人間味もある。  
松山は、何かひとつだけが  
スゴイのではなく、  
いろんなよさが絶妙に  
程よく混ざり合う街です。  
気の向くままにいる  
楽しみ、味わい、暮らせる街です。  
そういう松山らしい、  
ちょうどいい豊かさ。  
この街に住む人、  
訪れる人にもっともっと。

このまちの「特別」な場所  
「城山公園」に憩う人たち



松山はやさしい「陽」のまちです。春夏秋冬、雨が少なく、明るい、典型的な瀬戸内式気候です。そんな空の下には、人々が、のんびりした<sup>※</sup>松山時間<sup>※</sup>で暮らしている…。

松山市は、人口51万人の県庁所在地という、ほどほどの都会でありながら、海や山が近くにある田舎です。

着盤の目に整備された市街地には、都市機能がコンパクトに集積し、百万都市に匹

敵するといわれる歓楽街も抱えています。

落ち着いた城下町の雰囲気と、幾重にも積み重なる歴史文化の層。俳句や能などの心豊かな文化が育ってきた背景には、余暇を楽しむゆとりと、ちょっとりとぼけた<sup>※</sup>よもだ<sup>※</sup>（※）精神があるのかもしれない。

一方で、家計を預かる者にとっては、物価の安さも魅力です。災害が少なく、生活環境の良さは異口同音にいわれること。

すべてを『いい、加減』に持っている、調和のとれたまち。住み心地抜群の「松山」は、オーラウンドプレイヤーだから強烈に目立つことがなく、まちな人もスローだといわれますが、ちょうどいい暮らしができる、稀有なまちでもあるのです。

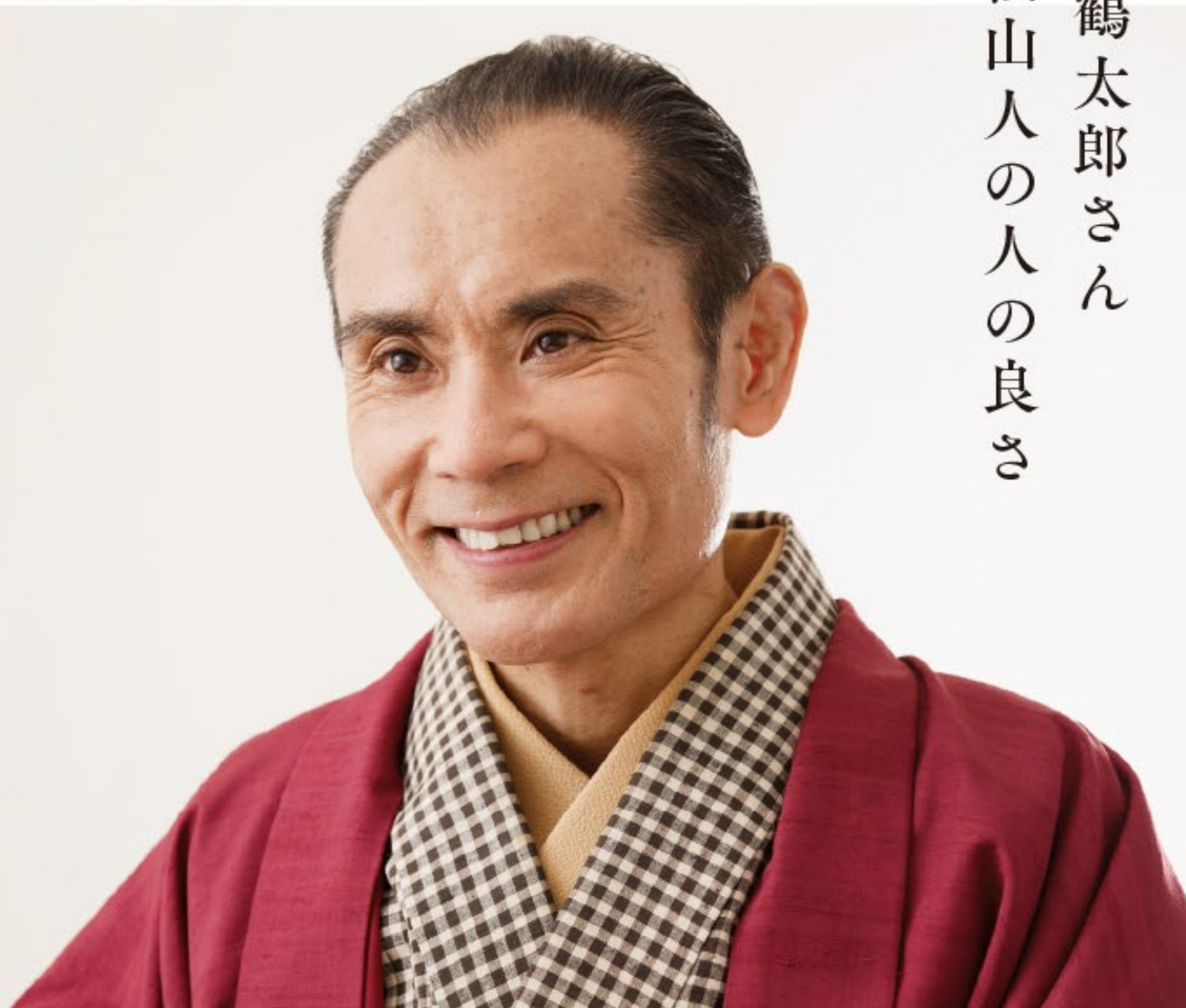
※よもだ：愛媛の方言、とほける、ふざけている、だらしないという意味だがどこかしら憎めないというニュアンスを持つ

「城山公園」は、お濠に囲まれ、天守閣と二之丸史跡庭園を見上げる場所にあります。藩政時代には松山城三之丸、明治に入ると歩兵第二十二連隊、終戦後は愛媛軍政部（GHQ）が置かれるという、どの時代においても特別な場所でした。そして今、街のまん中にありながら、喧嘩を忘れる園内は、無邪気に遊ぶ子どもやランニングをする若者、お弁当を広げる家族、散歩するお年寄りの姿が見られる市民のオアシス。松山を象徴する、のどかで美しい空間です。ここでは10万人を呼ぶ産業まつりなど、賑やかなイベントも行われます。

# 画家、役者・片岡鶴太郎さん 一番の良さは、松山人の人の良さ

20代に知人の紹介で松山に武者修業に出た時期があり、道後温泉の旅館の宴会場で司会ともまねの仕事をしました。それまで同地に縁もゆかりもなかった僕に、松山の人は大変よくしてくれました。その時に家内と出合い、のちに家族ができた。第2のふるさととして松山は僕にとって特別な場所になりました。その後、「椿まつり」を知り、さらに松山に強いご縁を感じました。というのも椿は30年前、僕に絵筆を握るきっかけを与えてくれた花だったからです。ある寒い冬の朝、ひっそりと咲く椿の凛とした姿に感動し「椿を描きたい」と思った、そ

つばき一輪



片岡鶴太郎  
1954年生まれ。幅広い役柄を演じられる役者として、日本アカデミー賞最優秀助演男優賞など数多くの賞を受賞。1995年に初の絵画展「とんぼのように」を開催して以降、毎年新しい作品100点制作を自分に課し、積極的に制作活動を続ける。昨年、横綱白鵬関の化粧まわしのデザインを担当し話題に。今年にはNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」にも出演。

れが始まりました。だから3月に、椿サミットで松山に行けるのが楽しみでなりません。松山の良さは、温泉、穏やかな気候、山海の幸、豊かな自然、それに夜の街も楽しく飽きません。空港も街に近く、なんでもコンパクトに揃って便利と枚挙にいとまがありませんが、一番の良さはそれを声高に言わない松山人の人の良さだと思います。ちょうどいい加減に揃っているからゆとりがあり奥ゆかしい。自慢しない気質が僕は好きです。

## 「第24回全国椿サミット松山大会」

ツバキ・サザンカを市町村の花木に指定している自治体及び、日本ツバキ協会会員、椿愛好者が一堂に集う文化イベント。「咲きほこれ！ 椿の花と文化の松山」がテーマ。片岡鶴太郎さんの記念講演「流れるままに」は15日実施。

会期：3月15日(土)・16日(日)  
会場：松山市総合コミュニティセンターほか  
問い合わせ 実行委員会事務局(松山市都市整備部公園緑地課内)  
☎089-948-6851。または松山市のホームページ参照。

仕事も楽し、暮らしも楽し 幸せ都市を謳歌する

## 転勤族ぱらだいす

四国最大の人口51万人を抱える松山市には多くの転勤者が住んでいる。実は松山は彼らにとっても評判が良い。はつらつと仕事をする裏には英気を養う暮らしがあるようだ。いったい松山の魅力はどこにある？



石手川公園にて



## ドングリ拾い、海水浴 絶好の子育て環境

明治安田生命保険相互会社 四国西支社  
法人営業部長  
森泉健一さん・博子さん・涼平くん

気候温暖で穏やかな土地柄だから、非常に居心地がいいですね。近くに海、山、川があるので、自然に親しむチャンスだと思います。道の駅ふわりの前の瀬戸内海で泳いだり、カニや魚を捕ったり、城山でドングリ拾いやセミ捕りをしたり、石手川の土手でチョウやバッタを捕ったり…。郊外へホテル狩りにも行きました。身近なところに、行きたくなるような自然があるので、子育てには絶好の環境。目いっぱい満喫しています。



堤端にて。「私も自転車愛用しています。主婦の立場からすると、物価の安さがうれしい」と話す千緒さん

## 自転車ライフで さわやかな街を満喫

日本経済新聞社松山支局 支局長  
入江学さん・千緒さんご夫妻



後平野のあちこちを颯爽と駆けていますよ。自転車に乗ると街がよくわかります。フラットで

松山に来て自転車に目覚めました。というのも街が非常にコンパクトなので、移動は自転車が一番なんです。今まで仕事では車や電車を使っていましたが、ここでは通勤も取材も休みの日もマウンテンバイク。道

清潔感がある。高い建物がなくて空が広い…。妻は人見知りする質ですが、すぐに溶け込めました。宅配便の人から「もう慣れましたか？」と優しく声をかけてもらったり。おもてなしを謳う都市は多いですが、松山人は表現のさりげなさが良いのでは。

## 元気で礼儀正しい 子どもの姿に感動



NHK松山放送局 副局長  
宮村泰司さん



初めて松山の地を踏んだ時、路面電車でランドセルを背負ったたくさんのお小学生と乗り合わせました。降りる時、みんな元気な声で「ありがとうございますと言ったのです。この光景は都会生活の長い私にとって鮮烈で、「なんていい街なんだろう」とうれしくなりました。今もこの心象は変わりません。松山の人は明るくて礼儀正しく、やや開放的に祭りや言葉の文化を積極的に守ろうとする姿勢がある。先日も路面電車にある「赤い糸五十年経ったら金の糸」という言葉を見つけて「うまいなあ」と感心したものです。

## 期待以上、想像以上、 松山にぞっこんです



凸版印刷株式会社 中四国事業部  
松山営業所 所長  
栗栖誠さん

いくつかの地方都市で暮らしましたが、ダントツ松山が気に入っています。街の真ん中にあるお城がどこからでも見えるロケーション。活気があって適当に都会の中心街。オープンで包み隠さず、尋ねたら期待以上に答えてくれる人の良さ。名物が少ないのは恵まれない風土のせいでしょう。何を食べても旨い。強烈な何かはないのですが、この街には住めばわかる良さ、来ればわかる楽しさ、想像以上の美味しさがあります。ほど良くコンパクトに住む人に優しい街。3年半を過ごした今でも、期待以上の松山です。



## 道後だけじゃない、 あちこちに温泉あり

アシアナ航空松山支店 支店長  
太田俊治さん



住んでみて道後温泉がこんなに街の近くにあったんだと知りました。しかし道後以外にも山間の静かな温泉、一日ゆっくりできるリゾート型温泉など、気軽に行ける温泉が多い。週末は山登りや温泉めぐりに余念がありませんが、ちよつと遠くの温泉まで自転車で行き、帰ってまた道後の湯につかるなんてこともありました。松山は四国のおいしいものが集まっていますよね。昨夜は瀬戸内のアコウという魚をいただきました。旨い地酒、あったかい会話、この街はいいですよ。

## “ほど良い距離感”を 体感中！



アサヒビール株式会社松山支社 課長補佐  
山田信広さん

松山で初めて定期券のない生活になりました。前任地では地下鉄とバスを乗り継いで片道50分の通勤でしたが、今は自転車で7〜8分。日本一通勤時間が短いことに甘えて、時間を気にせず、夜のお店まわりをするようになりました。松山の飲食店は四国一多く、集積して歓楽街を作っている。回りやすいという利点もありますが、すぐに知り合いに出会うことも(苦笑)。日頃はシャワー中心ですが、道後に住んでいるので湯船に浸かりたい時は道後温泉本館に行きます。時々城山にも上ります。道後と松山城と歓楽街のトライアングルは、実にほど良い距離感なんです。



## 初めて知った 果物の味！



五洋建設株式会社 四国支店長  
島内理さん

人口が多いのにゴミが落ちてないし、朝、繁華街を通っても生ゴミの臭いがしない。都会では考えられないことですね。食が多様でオフィス街に美味しいイタリヤンの店が隠れるようにあったりする。だからお客様をお連れするのに困りません。松山に来て初めて果物がこんなにおいしいものだと知りました。種類の多い柑橘、生産量の多いキウイフルーツ、和洋に使われるイチジクなど、もう最高です。松山の人は穏やかですね。すぐに自己主張せず、ぐっと気持ちを呑み込んで、まず相手の意見を聞こうとする。公私の場で争いを避けるための大人の対応に遭遇します。

## 街角の愛される名店たち

愛される街には愛される店がたくさんある。昔の記憶を呼び起こすような店構え。時折、無性に食べたくなる味。旅人が一人でも気軽に入れる人なつっこい人たちが暮らして溶け込んだこんな店があるから、松山は居心地がいい。



左/このサインに店の歴史が詰まっていると語るオーナーシェフの森孝寛さん  
右/外壁に描かれたイタリアの地図が目印

### シシリア

老若男女を惹き付ける  
松山の元祖イタリアン



シシリアの看板メニュー パジリコ 950円

昭和51年創業、松山のイタリアンの草分け的存在。大理石の壁には国内外の有名人のサインがびっしりと書き込まれている。多くの人々に愛される理由は、「誠心誠意、当たり前前」の言葉を当たり前にする「こと。奇をてらわず、本格イタリアンをきちんと味わってもらおう。それは創業時から看板メニュー・パジリコを食べれば感じられるだろう。

①松山市二番町3-3-1  
②089932-3930  
③11時〜22時（L.O.21時30分）  
④無休

### 野咲

松山人の味覚にあわせたい  
ランチが人気の洋食屋さん

「ランチといえば野咲」という松山の人は多い。昭和48年のオープンから現在まで、学生、サラリーマン、OL、多くの人がこのランチを求めて訪れる。おかずをひと皿に盛り合わせるスタイルはおそらく松山で最初。地元っ子の舌を意識した味付けがポイントで、トンカツの上になつぷりかかったデミソースもコロッケもちよつぷり甘い。昼ときはごった返すほどの人気店だ。

①松山市千舟町3-2-13  
②0899460642  
③11時〜21時  
④火曜



左/「デミソースは毎朝3時間以上湯せんしてコクを出します」と富永親典さん 右上/看板メニューの野咲ランチはトンカツ、コロッケ、サラダが盛られて480円とお得 右下/店が建つ千舟町は創業時から様変わりしたが、この店構えは変わらない

### キッチンライオン

家庭では味わえない  
でも、懐かしいカレー

昭和39年の創業時は洋食屋としてスタート。その後、カレーが口コミで評判になり、現在のようにカレーをメインとする店となった。このカレーは昔ながらの懐かしい味だが、家庭では決して出せない絶妙なスパイスの味を持つ。ずっと変わらぬこの味を慕って、4世代にわたり通う家族もいるほど。

①松山市千舟町3-2-15  
②0899459958  
③11時〜20時15分  
④水曜



左上/千舟町通りにある目をひく看板 右上/いつも笑顔で迎えてくれるこの店の奥様、清水祥子さん 右下/看板メニューは大きなカツがのったカツカレー 750円。辛口・中辛・甘口から選べる



## 赤丹 本店



右上/気さくに声をかけてくれるおかあさんの人柄も魅力  
左上/店構えは変われど創業以来ずっとこの場所で営業してきた  
下/濃い目の出汁でじっくり煮こまれたおでんは1本120円〜150円。人気はすじ150円

### 創業80年 「昔のまよ」がうれしい 市駅前のおでん屋さん

賑やかな市駅前、屋敷がらあかりの灯る提灯がぶら下がっている。年季の入った暖簾をくぐると、これまた年季の入ったカウンターとおでんの鍋が目飛び込んでくる。席に着くと「何取りましょうか？」と優しく問いかけてくれるのが、この店の「おかあさん」こと、女将の金本愛子さん。創業は昭和8年。おかあさんがこの店に嫁いで働き出してから60年。以来、変わらないおでんの味を求めて、何十年と足繁く通う常連客がいる。また、出張で松山を訪れたビジネスマンがバスの発車時間までおでんをいただき、板前さんの目利きによる新鮮な瀬戸内の魚に舌つづみをうつつことも。魚の美味しさに驚いた客と話を花を咲かせているのはよく目にする光景だ。交通の要衝だけあって、まわりの景色はめまぐるしく変わるが、赤丹の存在と味は昔のまま。そんな安心感が地元の人にも旅人にも愛される理由かもしれない。

①松山市湊町5-5-10  
②0899461222  
③14時30分〜21時  
④日曜

コンパクトで  
盛りだくさん、  
時代を拓く  
たくましさもある街

首都圏にお住まいの4人の方に、暮らしを感じる旅をしていただきました。松山のどんな素顔に出会ったのか、それぞれのレポートをお楽しみください。

どよつと詰まった  
濃密空間

私たち夫婦は二度目の松山。今回の旅は、市民のソウルフードでアルミ鍋に入った鍋焼きうどんから始まりました。甘めのつゆと柔らかい麺が持ち味のユニークな味わい。さぬきうどんとも東京の鍋焼きうどんも違って、ちょっとしたインパクトです。道後商店街には、お風呂上がりにはびつたりのみかんジュースやゼリーがずらり。元気の出るビタミンカラー



一茶寮 / 道後温泉本館前という絶好のロケーション。「みかんジュースと昆布だしで炊きあげた、店オリジナルの“媛(ひめ)いなり”も松山らしい」

が目に飛び込みます。若者の興味を引きそうなお店が多く、古い温泉街から脱皮を回っているように思いました。熟田津の道をゆつくり歩いてセキ美術館へ。商店街から一歩出るとうってかわって生活空間です。八百屋さんの値段の安さに驚いたり、遍路石を眺めたり、原付バイクの雲形プレートを見つたり：発見の連続。



セキ美術館 / 「空間をうまくいかした造りに感心しました」

進めることおよそ10分。カラクリ時計の隣にある足湯で、印象的な光景を目にしました。足を温めていた車椅子のお年寄りが、観光客らしきカップルが立ち去る時に、笑顔で手を振っているのです。どんな会話を交わしたのでしょうか。まるで祖母と孫のような親しみに溢れたあいさつでした。足湯は地元の人と旅人の社交場なんです。

熟田津の道 / 石畳の小道。「川にはよく見れば魚の群れが…」



下：石手寺 / 四国霊場51番札所。「悠久の時を感じるいやしの空間でした」 左：松山市立子規記念博物館 / 子規の生涯や交友関係をわかりやすく展示。「勉強になりましたが、予想どおり俳句のレベルは高かった…」



その後、来年開創1200年を迎える四国八十八ヶ所のひとつ石手寺や、松山らしい知的スポットの松山市立子規記念博物館を訪問。愛媛発祥で、東京でも有名な山田屋まんじゅうの日本茶カフェでお茶をいただきました。その後、道後温泉本館へ。

凛と建っている本館は、松山観光の主役を張るだけのことではありません。風格ある佇まいと凝った造り。どんなに多くの方が手をかけて守ってこられたのでしょうか。館内を清潔に安全に保つただけでも大変なのに。地元の方もよく利用されるそうですが、歴史的価値の高い建物が日常にあるのは素敵ですね。夜は市内の繁華街一番町で夕食。活きのいいアジやタイなどの地魚を堪能しました。



日本茶専門カフェ 茶寮 / 「一煎目、二煎目…と玉露の味の変化にびっくり」山田屋まんじゅうも味わえる



和菜いたや / 「新鮮な魚が手軽に食べられるのは本当に贅沢。松山には“幸”が多いと実感しました」



道後温泉本館 / 全国で唯一の皇室専用浴室「又新殿(ゆうしんでん)」で。

道後からの路面電車は本数が多く、乗車時間も10分ほど。1両なのに頼れる存在です。瀬戸内海のおいしい地魚と地酒を味わい、おなかはもちろん、気分も満たされ、繁華街の賑わいを後に、宿泊地道後へ。道後は小さなエリアに見どころがいっぱいあってとても濃厚でした。駅も道も施設も清掃が行き届いて美しい。でも少し深く知ると、ただ知的で穏やかなだけじゃなく、積極的に時代を拓こうというたくましさも感じました。



放生園足湯 / 「足湯も隣のカラクリ時計もきれいに清掃されています。着替えスペースはうれしい心遣い」

透明感あふれる  
いざしのゾーン

# お城下ぶらぶら 女子旅

神奈川県在住:田岡美穂さん  
埼玉県在住:松尾裕美さん  
(レポート:田岡美穂さん)



「松山城のマスコットキャラクター『よしあきくん』と一緒に」

味の違いがはっきりわかり、それにもまたびっくりです。リフトで上った松山城は、感動の連続でした。天守閣からの見晴らしは最高で、瀬戸内海や四国山地まで見渡せたのです。フレンドリーで丁寧な観光ボランティアガイドさんの存在も大きかった。敵を追い払う工夫や石垣を精巧に積んだ職人さんのプライドなど、ただ歩くだけでは見落としてしまうようなことをたくさん教えてくださり、城下町として栄えた松山を身近に感じることができました。また、毎日天守閣の前でラジオ体操をする人や、お濠の周りをジョギングをする人たちがいるとか。この界限は地元の人に愛されているいやしゾーンなんですね。旅の終わりは、松山の中心地から車で20分、海の玄関「松山観光港」に近いライム農園

で収穫体験。初めて見る柑橘の栽培風景はとても新鮮でした。ここではもぎたてのライムを使ったライムサイダーとジンライムを作ってもらおうという最高の贅沢を味わい、親戚みたいなおもてなしにあずかりました。眼下には映画のワンシーンのように美しい瀬戸内海。またとない貴重な時間が過ぎていきました。松山はコンパクトにまとまった街。そこに歴史、温泉、美食、自然、祭り…と魅力あふれるアイテムが盛りだくさんにありました。道後温泉も松山城も観光客だけではなく、市民の生活に溶け込んだもの。すっかり松山のイメージを一新する旅になりました。



「松山城天守閣からは道後平野が見渡せて、壮観でした」



左/農園からみる瀬戸内の景色にうっとり  
上:ライム農園/松山市高浜にある森さんの農園で。「太陽と瀬戸内海の潮風を浴びて育ったみかんとライム。楽しい収穫体験でした」



松山城/標高132mの勝山にある名城。「石垣と櫓と小天守が一度に見えるポイントです」



坊っちゃん列車/「さわやかな車掌さんのおもてなしにみんな釘付けでした」

心地良い風を道後の街に感じながら、私たちは早朝本館の朝湯に入りに行きました。6時過ぎだったのに地元のおばあちゃんが大勢入浴されて、松山の人の生活を垣間見た思い。朝食後は坊っちゃん列車からスタートです。車掌さんのサービスぶりが素晴らしく、車



レストラン門田/地元の食材をふんだんに使用。「スープの香りやドレッシングの味も忘れられないおいしさ」

内はうきうきした遠足ムード。帽子を貸して写真を撮ってくれるといった楽しい趣向もあって、名残惜しさを感じながら下車しました。「坂の上の雲ミュージアム」は小説をしっかりと読んでいればもっと楽しめただろうなと思いつつ、斬新な三角形の建物に目を奪われました。



10FACTORY 松山本店/「みかんのアイスも、おいしかったです」

階段でなくスロープで観覧するのも新鮮でした。瀬戸内風と銘打ったレストラン門田で、おいしいフレッシュの昼食をとった後、ロープウェー街を散策しながらショッピング。お洒落な柑橘専門店では、みかんの種類の多さに驚きました。数種類のジュースを飲み比べると



坂の上の雲ミュージアム/圧巻の新聞記事。安藤忠雄設計の建物も見どころ



# 「お接待」の心が 培った 松山の おもてなし

松山では昔から、通りすがりのお遍路さんをミカンやお茶でもてなす「お接待」が、ごく当たり前に行われてきた。見知らぬ人にも手をさしのべたり、手持ちのささやかな何かを差し上げたり。この地に今も根付いている風習である。松山のおもてなしの心は、遍路文化が培ったものではないだろうか。



## 歩き遍路をおもてなし

松山から高知へ抜ける三坂峠にほど近い元遍路宿「坂本屋」。50年ほど前に廃業したが、平成15年に修復、翌年から遍路の休憩所として、地元の人を中心に運営が始まる。3月～11月の週末、歩き遍路に茶菓子や季節の食べ物をふるまっている。



## お遍路さんに心からおもてなし

52番太山寺と53番円明寺では、平成13年から和気小学校児童と地元の和気地区社会福祉協議会によるお接待が定期的に行われている。希望者を募り、春は6年生、秋は5年生が参加。エプロンと三角巾姿の小学生からお茶やお菓子などを手渡されると、お遍路さんの顔に笑みが広がる。

お接待とは四国霊場を巡る遍路に、沿道の住民がさまざまな施しをすること。お茶や食べ物、金銭に限らない。無料で宿を提供したり、歩いて巡る歩き遍路を自動車に乗せたり。時代を越れば、行き倒れの遍路の墓の建立や、按摩、整髪などの行為もお接待だった。

松山には8つの札所がある。51番札所の石手寺から52番札所太山寺へ通じる遍路道は道後を横切っており、古来多くの遍路が温泉で旅の疲れを癒した。江戸中期まで、道後温泉では遍路は3日間湯銭免除するという優遇措置をとっていた。これもまた形を変えたお接待だろうか。戦後は車を使つての車遍路が多数を占めるようになった。10年ほど前の調査によれば(※)、巡拝中にお接待を受けた遍路は5割で、そのうち車遍路が4割ほどであるのに対して、歩き遍路は9割以上がお接待を受けている。歩き遍路へのお接待が今も健在であることがよくわかる。

お接待の最大の動機は、弘法大師信仰である。遍路を弘法大師とみなし、遍路への接待は弘法大師への接待にほ

かならないというもの。また、自分自身が遍路に出られないために身代わりとして遍路をもてなすものや先祖の供養、遍路を労わる気持ちと、動機はさまざま。

幼いころから、日常茶飯事としてお接待の光景を見て育った松山の人々に、よそから来た人に対するおもてなしの心が育まれても不思議ではない。自分のできる範囲で、無償で何かをするのは、特別なことではなく、ごく当たり前のこと。そんな心根がこの街の人には自然と備わっているのかもしれない。道をいく遍路にただ温かい声をかけるのもお接待だ。心と心が触れあい、お接待をする人も、それを受ける人も、一期一会のささやかな縁(えにし)がもたらす温もりを、次に出会った誰かと分かち合う。お接待によってつながる心、そして広がる人の輪。遍路文化が養うおもてなしの精神が、ここ松山に息づいている。

※平成12年、愛媛県生涯学習センター「遍路に対するアンケート調査」



## 江戸時代にタイムスリップ

松山城筒井門で「松山城門人会(もんどかい)」の門番が観光客をお出迎え。時に見られる甲冑姿は歴史絵巻物を見るようだ。松山城のマスコットキャラクター「よしあきくん」の護衛で城内散策も。月数回、週末・祝日に登場、写真撮影にも応じてくれる。



## 「坊っちゃん」キャラがお目見え

道後温泉周辺で小説「坊っちゃん」の登場人物に会える。月に数回、週末や祝日を中心に坊っちゃんやマドンナに扮した「道後レトロ漫遊団」のメンバーが写真撮影に応じるなど観光客をおもてなし。新キャラクター「坊っちゃんだん GO!」も新登場。



8月下旬から種を巻き、秋には苗が育つ異例の早さは、島の気候だけでなく、津和地島の農家の人たちが、この島に合った栽培管理の技術を考え抜いてきたたまものでもある。



生で食べれば甘さがわかる！  
冬から出荷が始まる  
瀬戸内海の島の恵み

津和地島の極早生玉ねぎ

松山市の沖合に位置する忽那諸島。その中に津和地島はある。この島が全国的にみてもタマネギの大産地だということは意外と知られていない。

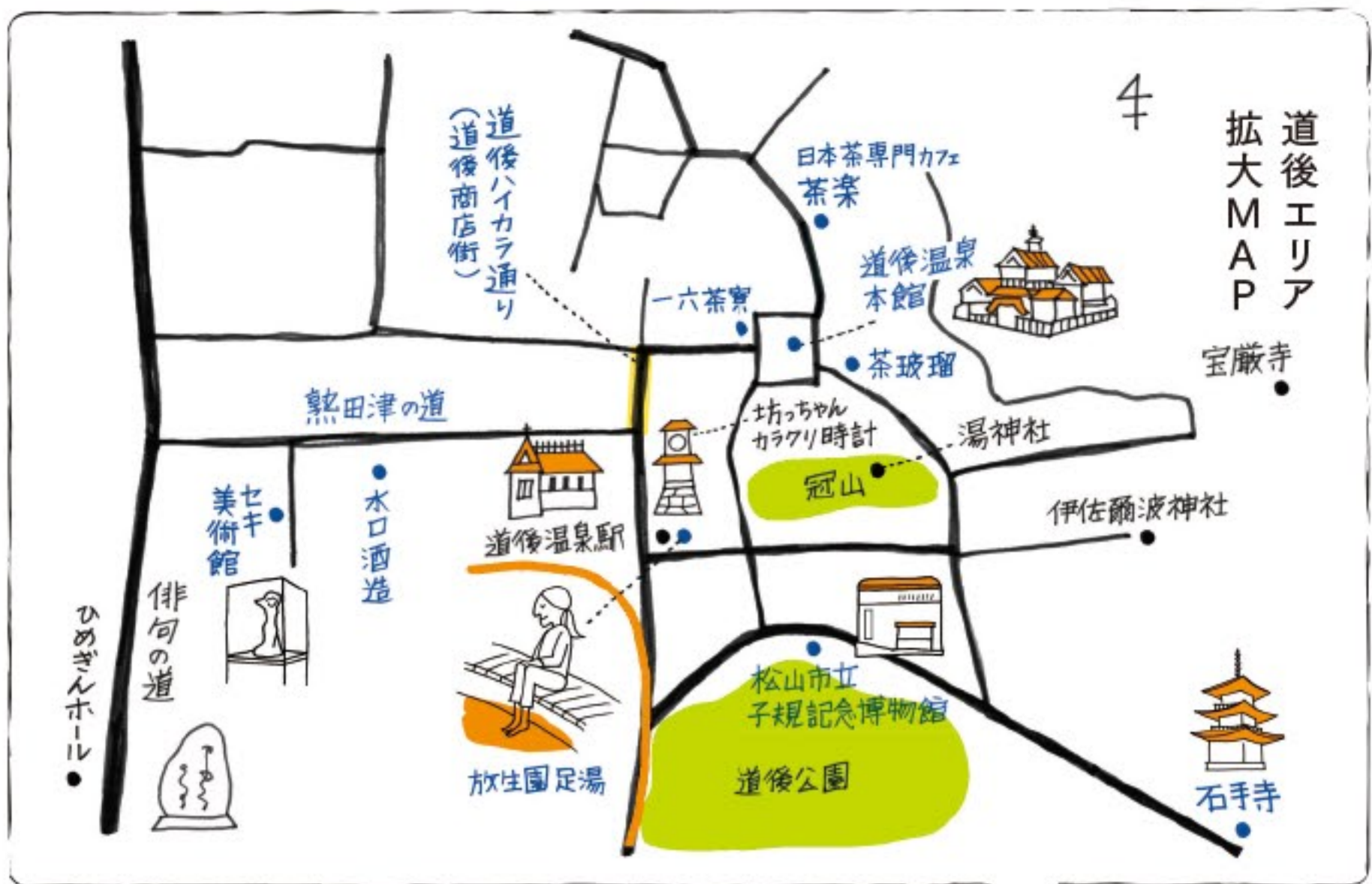
津和地島のタマネギ栽培は、戦後、農業に適さない砂地畑を活用することから始まった。幸運にも、海に囲まれた島の気候はタマネギ栽培にマッチし、現在に至るまで順調に生産を伸ばしている。

このタマネギの特徴は、名前の「極早生玉ねぎ」からわかるように、本来、春から新タマネギとして出荷されるものが、1月から出荷をはじめ、2月にはピークを迎えること。農家のこまやかな水やりや、肥料の管理のおかげで、みずみずしさを湛え、スライスして食べるだけで甘さが感じられる逸品なのだ。



松山市街地  
エリアMAP

松山は中心部に都市機能が集まり、移動手段には路面電車が活躍する、非常に便利なコンパクトシティ。街の真ん中にはお城がそびえてランドマークとなり、道後温泉は市街地から路面電車で10分余りの近さ。とても旅がしやすい城下町です。



東京から1時間半でひとっ飛び！

- |       |   |
|-------|---|
| 飛行機   | 羽田空港～松山空港 約1時間30分<br>成田空港～松山空港 約1時間40分<br>(松山空港から市内中心部まではリムジンバスでたった20分) |
| JR    | 東京駅～(新幹線 約3時間30分)～岡山駅～(予讃線 約3時間)～松山駅                                    |
| JR+船  | 東京駅～(新幹線 約4時間)～広島駅～広島港～(高速船 約70分)～松山観光港                                 |
| 長距離バス | 東京駅～松山駅 約12時間20分  |

アクセス

瀬戸内海で出会いを見つけませんか  
「愛ランドdeまどんなCON」  
参加者募集！

瀬戸内海の景色と海・山の幸に舌鼓。いやしと安らぎの自然に溶け込む……まさに松山市の「愛」ランドを丸ごと感じてもらうイベントを格安料金で開催！忽那(くつな)諸島の愛溢れる青年たちとの交流はきっと幸せな気持ちで心が満たされるはず。あなたのご参加お待ちしております！

開催日:平成26年3月1日(土)～2日(日)  
定員:12名(※ 独身女性限定)  
参加費:1泊2日 19800円(東京⇄松山 飛行機代 宿泊費 食事代含む)  
締切:2月7日(金)  
詳しくは[えひめ結婚支援センター] ☎089-933-5596まで  
坂の上の雲まちづくりチーム ☎089-948-6816



松山発の  
オリジナルアニメ  
絶賛公開中！

松山を舞台にした約9分の冒険活劇。松山の街を愛護させようとする謎の男らに立ち向かった少年たちが選んだ未来の松山とは？

松山ゆかりの友達さんや水樹奈々さんが声で出演。地方自治体が制作したアニメらしからぬクオリティで話題殺到。今すぐ検索！



[YouTube]にて絶賛公開中！

だんだん松山 検索



ペア  
1組2名様

### ① 松山・道後温泉の旅にご招待

羽田～松山往復航空券+茶玻璃1泊2食付宿泊券

屋上露天風呂から素晴らしい城下の風景が楽しめます。道後温泉がアートの地になるイベント「道後オンセナート」ではマリメッコ社で活躍したデザイナー石本藤雄氏の手がける部屋が誕生。羽田～松山往復航空券をセットにした宿泊券で道後の旅をお楽しみください。

協賛元：(宿泊)茶玻璃 ※宿泊は一般のお部屋になります。平日限定、繁忙期を除く <http://www.chaharu.com/>



5名様



### ② まつやま農林水産物ブランド認定 人気の柑橘 「せとか 3kg 程度」

とろける食感と濃厚な甘さ、したたる果汁が人気。文旬なしの美味しさです。皮が薄いので手で簡単にむけるうえ、実を包む膜が口に残らないのも喜ばれています。

協賛元：まつやま農林水産物ブランド化推進協議会 <http://www.matsuyama-brand.com/>

10名様



### ④ 山田屋の 「山田屋まんじゅう 20個入り」

慶応3年の創業。以来、秘伝の味が受け継がれてきました。ほどよい甘さと上品な形、絶妙な餡と薄皮が特徴。県内外に多くのファンを持つ名菓です。

協賛元：山田屋 <http://yamadayamanju.jp/>

5名様



### ③ 瀬戸内風仏蘭西料理 レストラン門田の 「はいから郷土料理 瀬戸の鯛めしと伊予牛の牛めしのセット」

瀬戸内海産の真鯛と愛媛県産の伊予牛を使用。ご飯は愛媛県産銘柄米「愛のゆめ」にもち麦、もちぎびをプラス。レストラン門田がお洒落に仕上げました。各210g(1人前)。

協賛元：レストラン門田 <http://www.kadota.co.jp/>

10名様



### ⑤ 10 FACTORY 松山本店の 「松山市興居島産 温州みかんジュース 720ml」

すぐれた柑橘の産地である松山市興居島産の温州みかんを使用。余計なものを一切加えないで、素材の味を活かす、こだわりの手法を貫いたジュースです。

協賛元：10FACTORY松山本店 <http://10-mikan.com/>

## ハガキでご応募

ハガキに次の①～⑦を明記して、下記までお送りください。

①ご希望のプレゼント番号(ひとつ)②本誌を読んだ感想③住所④お名前⑤年齢⑥性別⑦電話番号

〒102-8515 (住所不要) サンケイリビング新聞社 企画開発部  
「暖暖松山」プレゼント事務局

◎受付業務は、サンケイリビング新聞社が代行します。個人情報を申込者の許諾なく第三者に提供することはありません(法令等により開示を求められた場合を除く)。

◎個人情報は、プレゼント賞品の発送、及びアンケート集計のみに利用し、厳重に管理いたします。

◎プレゼント賞品に関するお問い合わせは、えひめリビング新聞社までご連絡ください(TEL089-931-5800)。

◎松山市の個人情報保護制度については、松山市のホームページをご覧ください。<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/johokokai/kojinjouhouhogoseido.html>

◎当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。応募締切/2014年2月28日(金)。ハガキの場合は、当日消印有効

## パソコン・スマホでご応募

<http://www.dandanmatsuyama.com>



暖暖松山プレゼント

検索

パソコン・スマートフォンでご覧になれます

2014年1月発行/企画・発行:松山市 産業経済部 都市ブランド戦略課 TEL089-948-6707

〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7番地2 松山市ホームページ <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/>

暖暖松山編集部:サンケイリビング新聞社・えひめリビング新聞社内 撮影:大本幸和 アートディレクション・デザイン:相澤事務所 タイトルデザイン:漆原悠一(tento)

印刷・製本:NTTクオリス 配布:サンケイリビング新聞社

この冊子は、再生紙とベジタブルインキを使用しています

※掲載データにつきましては、2013年12月現在のものです。情報の内容は変更される場合がございますのでご了承ください。本誌記事、写真等の無断複製、及び転載を禁じます



松山への旅や特産品など  
素敵なプレゼントが  
当たります

『暖暖松山』5号はいかがでしたか。  
お読みいただいた方の中から、  
抽選で松山の素敵なプレゼントが  
当たります。  
パソコンかスマホ、ハガキで、  
アンケートに答えてご応募ください。  
当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。  
応募締切/2014年2月28日(金)。ハガキの場合は、当日消印有効